



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

平成24年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家、アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	159,874	5.5	2,250	△32.3	2,831	△29.5	1,161	—
23年12月期第2四半期	151,479	△2.7	3,324	20.7	4,016	19.6	47	△97.0

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 3,624百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △426百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	4.32	4.32
23年12月期第2四半期	0.18	0.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	248,221	107,595	41.8
23年12月期	249,272	105,252	40.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 103,795百万円 23年12月期 102,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	6.00	11.00
24年12月期	—	5.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,000	2.3	12,000	7.4	13,000	6.7	7,000	71.7	26.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 有
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

詳細は、四半期決算短信【添付資料】p.8「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	299,115,346 株	23年12月期	299,115,346 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	30,390,267 株	23年12月期	30,645,932 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	268,609,488 株	23年12月期2Q	268,527,741 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.7「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	6
（3）連結業績予想に関する定性的情報	7
2. サマリー情報（その他）に関する事項	8
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	8
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	8
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	8
3. 四半期連結財務諸表	9
（1）四半期連結貸借対照表	9
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
（4）継続企業の前提に関する注記	15
（5）セグメント情報等	15
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
（7）追加情報	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成24年1月1日～6月30日）のわが国経済は、消費者物価の緩やかな下落が続きましたが、個人消費や企業収益が持ち直すなど、回復基調にありました。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界は、店頭での激しい販売競争が続き、厳しい事業環境にありました。

このような環境の中、当社グループは、新経営ビジョン「*V i s i o n 2 0 2 0*」に掲げる“くらしとこころの価値創造企業”を目指し、新中期経営計画「*V - 1*計画（*V i s i o n 2 0 2 0 P a r t - 1*）」をスタートさせ、4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」に基づく施策を推進しています。

国内事業では、オーラルケア分野、ファブリックケア分野の主力ブランドを中心に付加価値の高い新製品を発売するとともに、広告宣伝等の積極的なマーケティング活動によりブランド育成に努めました。また、定期購入者が順調に増加を続ける機能性食品等（通信販売商品）では、開発体制の強化ならびにマーケティング投資の増強、商品ラインの拡充等により事業の拡大に努めました。海外事業では、タイ、韓国を中心にオーラルケア、洗濯用洗剤等の重点ブランドの育成を進めるとともに、フィリピンでは事業開始に向け合弁会社を設立しました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高1,598億7千4百万円（前年同期比5.5%増）となりました。損益は、ブランド育成や新コーポレートメッセージ浸透のための競争費用の増加等により、営業利益は22億5千万円（同32.3%減）、経常利益は28億3千1百万円（同29.5%減）、四半期純利益は11億6千1百万円（震災関連損失を計上した前年同期は4千7百万円の四半期純利益）となりました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	159,874		151,479		8,394	5.5%
営業利益	2,250	1.4%	3,324	2.2%	△1,074	△32.3%
経常利益	2,831	1.8%	4,016	2.7%	△1,185	△29.5%
四半期純利益	1,161	0.7%	47	0.0%	1,113	—

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	126,811	119,278	7,533	6.3%	930	2,057	△1,127	△54.8%
産業用品事業	24,243	24,914	△670	△2.7%	47	464	△416	△89.7%
海外事業	28,310	26,680	1,629	6.1%	876	325	551	169.4%
その他	14,386	11,799	2,586	21.9%	483	271	211	77.9%
小計	193,751	182,672	11,079	6.1%	2,337	3,119	△781	△25.1%
調整額	△33,877	△31,193	△2,684	—	△87	205	△292	—
合計	159,874	151,479	8,394	5.5%	2,250	3,324	△1,074	△32.3%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

＜一般用消費財事業＞

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比6.3%の増加となりました。セグメント利益は、ブランド育成のための競争費用の増加等により、前年同期比54.8%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	126,811		119,278		7,533	6.3%
セグメント利益	930	0.7%	2,057	1.7%	△1,127	△54.8%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では10,923百万円、前第2四半期では10,230百万円となっております。

〔売上高の分野別状況〕

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	24,981	21,104	3,877	18.4%
ビューティケア分野	10,977	11,842	△864	△7.3%
ファブリックケア分野	36,881	35,055	1,825	5.2%
リビングケア分野	10,154	10,589	△434	△4.1%
薬品分野	18,286	18,943	△657	△3.5%
その他の分野	25,529	21,742	3,787	17.4%

(オーラルケア分野)

歯磨は、主力の「デンターシステム」が好調に推移するとともに、歯のエナメル質の密度を高めて白く輝く強い歯をつくり、ムシ歯を予防する薬用歯磨の新製品「クリニカ エナメルパール」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

歯刷牙子は、「デンターシステムしっかり毛腰タイプ」、改良発売した「クリニカ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

口中剤は、主力の「デンターシステム」、改良発売した「クリニカ」のデンタルリンスが好調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、「キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、平年に比べ低い気温が続いた影響により主力のパウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、粉末洗剤市場が縮小する中、競争激化の影響を受けましたが、天然のエッセンシャルオイル配合で心地よい香りが長続きする新製品「香りつづくトップ^{プラス} plus」がお客様のご好評を得るとともに、改良発売した「トップ^{ナノノックス} NANO X」などの液体洗剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

柔軟剤は、「香りとデオドラントのソフラン アロマリッチ」が好調に推移するとともに、抗菌力を高めて改良発売した「香りとデオドラントのソフラン」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、「^{チャーミー}CHARMY 泡のチカラ」シリーズが堅調に推移しましたが、「チャーミー V」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

住居用洗剤は、新ロングネックボトルで、高粘度の洗浄液がトイレのふちウラの汚れに密着して洗浄する新製品「トイレのルック」がお客様のご好評を得ましたが、昨年発売した「ルック まめピカ」の新製品効果が一巡し、全体の売上は前年同期を下回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、頭痛と生理痛の両方に速く効いて胃にやさしい新製品「バファリン^{アイ}ルナ i」がお客様のご好評を得ましたが、競争激化の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

点眼剤は、コンタクトレンズ装用時に感じる目のかゆみや不快感に優れた効果を発揮する新製品「スマイルコンタクト^{エーエル} A L - ^{ダブル}W」がお客様のご好評を得ましたが、「スマイル40」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

殺虫剤は、煙も熱も出さず火災警報器に反応しないくん煙剤「バルサン^{イーエックス} プロ E X ノンスモーク霧タイプ」を新発売しましたが、市場規模縮小の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

(その他の分野)

機能性食品等は、主力の「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が好調に推移するとともに、粉末化したトマト酢に牛乳の栄養成分ミルクペプチドを加えて飲みやすいタブレットにした「トマト酢＋ミルクペプチド生活」を新発売し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ペット用品は、猫用トイレ「ペットキレイ ニオイをとる砂」が順調に推移し、全体の売上は前年同期をかなり上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業では、油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤等を取り扱っており、全体の売上高は、前年同期比2.7%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比89.7%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	24,243		24,914		△670	△2.7%
セグメント利益	47	0.2%	464	1.9%	△416	△89.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では9,441百万円、前第2四半期では9,714百万円となっております。

油脂活性剤および導電性カーボンは、需要低迷と競争激化により、全体の売上は前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤は、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、韓国、中国等において事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比6.1%の増加(為替変動の影響を除いた実質前年同期比は11.0%の増加)となりました。セグメント利益は、競争費用の効率化等により、前年同期比169.4%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	28,310		26,680		1,629	6.1%
セグメント利益	876	3.1%	325	1.2%	551	169.4%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では1,519百万円、前第2四半期では1,360百万円となっております。

(主要国の状況)

タイでは、洗濯用洗剤「パオ」が順調に推移するとともに、台所用洗剤「ライボン」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回り、円貨換算ではかなり上回りました。

韓国では、台所用洗剤「チャムグリーン」、ハンドソープ「キレイキレイ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りましたが、為替変動の影響を受け円貨換算では下回りました。

中国では、「システム」歯刷牙子が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回り、円貨換算でも大幅に上回りました。

＜その他＞

(単位：百万円)

	当第2四半期	売上比	前第2四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	14,386		11,799		2,586	21.9%
セグメント利益	483	3.4%	271	2.3%	211	77.9%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第2四半期では11,993百万円、前第2四半期では9,887百万円となっております。

その他では、建設請負事業が好調に推移し、全体の売上高は、143億8千6百万円(前年同期比21.9%増)、セグメント利益は、4億8千3百万円(前年同期比77.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①当四半期における資産、負債および純資産の状況

(連結財政状態)

	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	248,221	249,272	△1,051
純資産（百万円）	107,595	105,252	2,342
自己資本比率※1（％）	41.8	40.9	0.9

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して10億5千1百万円減少し、2,482億2千1百万円となりました。純資産は、23億4千2百万円増加し、1,075億9千5百万円となり、自己資本比率は41.8％となりました。

②当四半期におけるキャッシュ・フローの状況

(連結キャッシュ・フロー)

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,686	△9,861	15,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,153	△5,317	163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,115	△4,807	2,692
換算差額	62	△64	127
増減額	△1,519	△20,051	18,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,120	24,530	9,589

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、56億8千6百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、51億5千3百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払による支出等により、21億1千5百万円の資金の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ15億1千9百万円減少し、341億2千万円となりました。また、前第2四半期末に比べて95億8千9百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成24年2月10日発表の予想から変更していません。

わが国経済は、復興需要等を背景とした景気の持ち直しが見込まれる一方、欧州債務問題の高まりによる世界的な景気後退が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続くものと想定されます。

当社グループが主に事業を展開する国内一般用消費財業界では、店頭における激しい販売競争が続くものと予想されます。

このような環境のもと、「V-1計画」の戦略を着実に実行し、国内外の主力ブランドの育成およびトータルコストダウンへの継続的な取り組みにより、収益性の向上と事業基盤の強化を目指してまいります。

一般用消費財事業では、成長分野ならびに新規分野に新製品を投入するとともに、重点ブランドの育成に継続的に取り組みます。

産業用品事業では、導電性カーボン等の高機能製品や油脂活性剤、業務用洗浄剤の売上拡大を目指します。

海外事業では、オーラルケア、洗濯用洗剤を中心に重点ブランドの育成を継続するとともに、合弁会社を設立したフィリピンでの事業をスタートさせます。

(当期業績予想値算出の前提条件)

主要な為替レートは、78円/米ドル、2.5円/バーツとしています。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

なお、これらの会計基準等を適用したことによる影響はありません。

（有価証券の減損処理に基づく評価損の戻入れ処理の変更）

四半期連結会計期間末に計上した有価証券の減損処理に基づく評価損の戻し入れについては、従来、四半期切放し法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より四半期洗替え法に変更しております。この変更は、昨今の経済環境の著しい悪化に起因する期中での短期的株価変動による影響を排除し、連結会計年度末における財政状態及び経営成績をより適切に表示するためのものです。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及処理は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,478	23,420
受取手形及び売掛金	55,193	50,957
有価証券	10,439	11,590
商品及び製品	20,277	22,389
仕掛品	2,776	2,969
原材料及び貯蔵品	7,198	6,906
その他	5,913	6,992
貸倒引当金	△53	△57
流動資産合計	127,224	125,170
固定資産		
有形固定資産	58,503	59,583
無形固定資産		
商標権	18,968	17,158
その他	2,521	2,426
無形固定資産合計	21,489	19,585
投資その他の資産		
投資有価証券	22,386	24,861
その他	19,708	19,061
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	42,055	43,883
固定資産合計	122,048	123,051
資産合計	249,272	248,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,078	41,505
短期借入金	5,140	5,605
1年内返済予定の長期借入金	2,416	2,416
未払金及び未払費用	37,885	37,420
未払法人税等	1,349	1,073
賞与引当金	2,091	676
返品調整引当金	569	589
販売促進引当金	450	311
役員賞与引当金	147	96
その他	2,474	2,764
流動負債合計	94,603	92,461
固定負債		
長期借入金	25,087	23,879
退職給付引当金	19,153	19,147
役員退職慰労引当金	267	256
資産除去債務	323	321
その他	4,584	4,560
固定負債合計	49,417	48,165
負債合計	144,020	140,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,499
利益剰余金	56,755	56,265
自己株式	△16,653	△16,512
株主資本合計	106,035	105,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△351	1,563
繰延ヘッジ損益	△6	△1
為替換算調整勘定	△3,628	△3,452
その他の包括利益累計額合計	△3,986	△1,890
新株予約権	180	102
少数株主持分	3,023	3,697
純資産合計	105,252	107,595
負債純資産合計	249,272	248,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	151,479	159,874
売上原価	64,429	69,356
売上総利益	87,049	90,517
販売費及び一般管理費	83,724	88,266
営業利益	3,324	2,250
営業外収益		
受取利息	48	71
受取配当金	291	308
持分法による投資利益	575	314
受取ロイヤリティー	114	101
為替差益	18	43
その他	178	190
営業外収益合計	1,226	1,029
営業外費用		
支払利息	442	356
その他	92	91
営業外費用合計	535	448
経常利益	4,016	2,831
特別利益		
固定資産処分益	25	—
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	48	—
特別損失		
固定資産処分損	33	138
減損損失	3	71
災害による損失	2,800	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	190	—
その他	311	—
特別損失合計	3,338	210
税金等調整前四半期純利益	725	2,621
法人税、住民税及び事業税	877	835
法人税等調整額	△506	323
法人税等合計	371	1,159
少数株主損益調整前四半期純利益	353	1,461
少数株主利益	305	300
四半期純利益	47	1,161

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	353	1,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△828	1,930
繰延ヘッジ損益	16	5
為替換算調整勘定	4	223
持分法適用会社に対する持分相当額	27	4
その他の包括利益合計	△780	2,163
四半期包括利益	△426	3,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△742	3,256
少数株主に係る四半期包括利益	316	368

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	725	2,621
減価償却費	5,954	5,675
減損損失	3	71
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△631	△420
受取利息及び受取配当金	△340	△380
支払利息	442	356
固定資産処分損益 (△は益)	8	138
持分法による投資損益 (△は益)	△575	△314
売上債権の増減額 (△は増加)	2,367	4,398
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,235	△1,940
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,891	△715
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,068	△833
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	780	△22
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△441	△1,304
その他	△1,034	△1,289
小計	△8,934	6,042
利息及び配当金の受取額	771	733
利息の支払額	△479	△331
法人税等の支払額	△1,219	△758
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,861	5,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△3	△618
有形固定資産の取得による支出	△4,720	△4,007
有形固定資産の売却による収入	38	58
無形固定資産の取得による支出	△584	△523
投資有価証券の取得による支出	△54	△52
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△7	—
貸付金の回収による収入	6	7
その他	8	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,317	△5,153

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,747	8,244
短期借入金の返済による支出	△5,807	△7,817
長期借入金の返済による支出	△3,083	△1,208
自己株式の取得による支出	△18	△10
自己株式の処分による収入	2	2
配当金の支払額	△1,344	△1,614
少数株主への配当金の支払額	△167	△181
連結子会社設立に伴う少数株主からの払込による収入	—	545
その他	△135	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,807	△2,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	62
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,051	△1,519
現金及び現金同等物の期首残高	44,582	35,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,530	34,120

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	109,047	15,199	25,319	1,912	151,479	—	151,479
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	10,230	9,714	1,360	9,887	31,193	△31,193	—
計	119,278	24,914	26,680	11,799	182,672	△31,193	151,479
セグメント利益	2,057	464	325	271	3,119	205	3,324

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 205 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般用消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	115,888	14,802	26,791	2,392	159,874	—	159,874
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	10,923	9,441	1,519	11,993	33,877	△33,877	—
計	126,811	24,243	28,310	14,386	193,751	△33,877	159,874
セグメント利益	930	47	876	483	2,337	△87	2,250

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△87 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。